

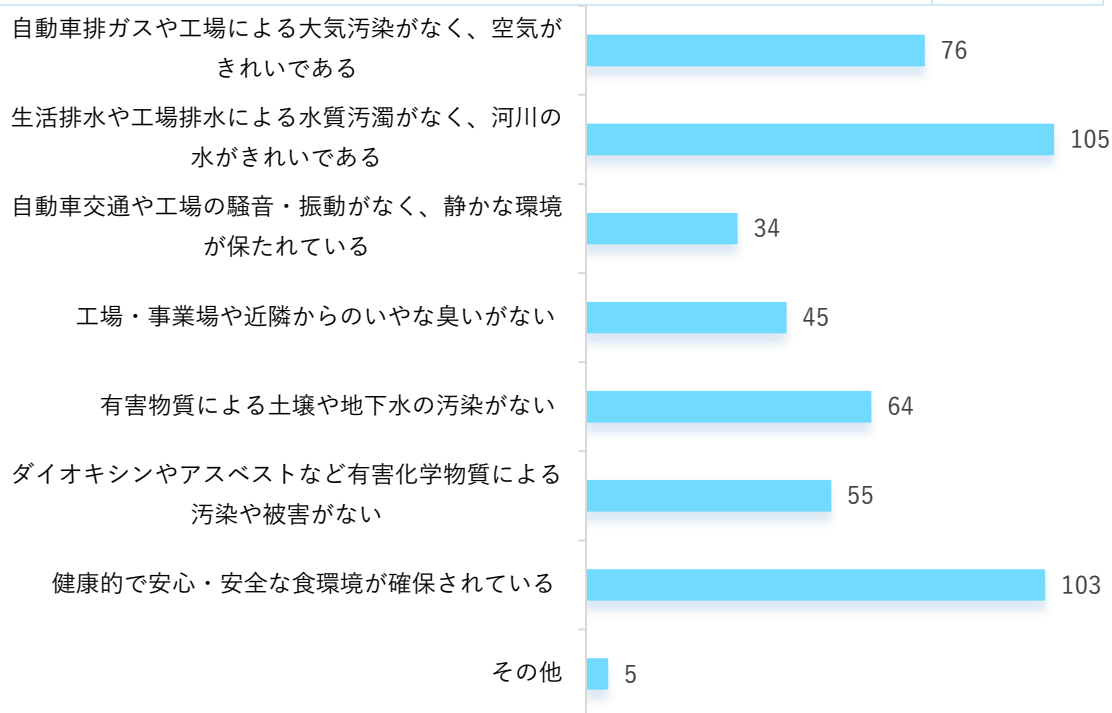
「環境とまちづくりについて」

募集期間：2022/9/1-2022/10/31 回答総数 160 人

現在策定に向けて準備を進めている第3次新居浜市環境基本計画に関する幅広い世代の方の御意見を参考にさせていただくためのアンケートです。

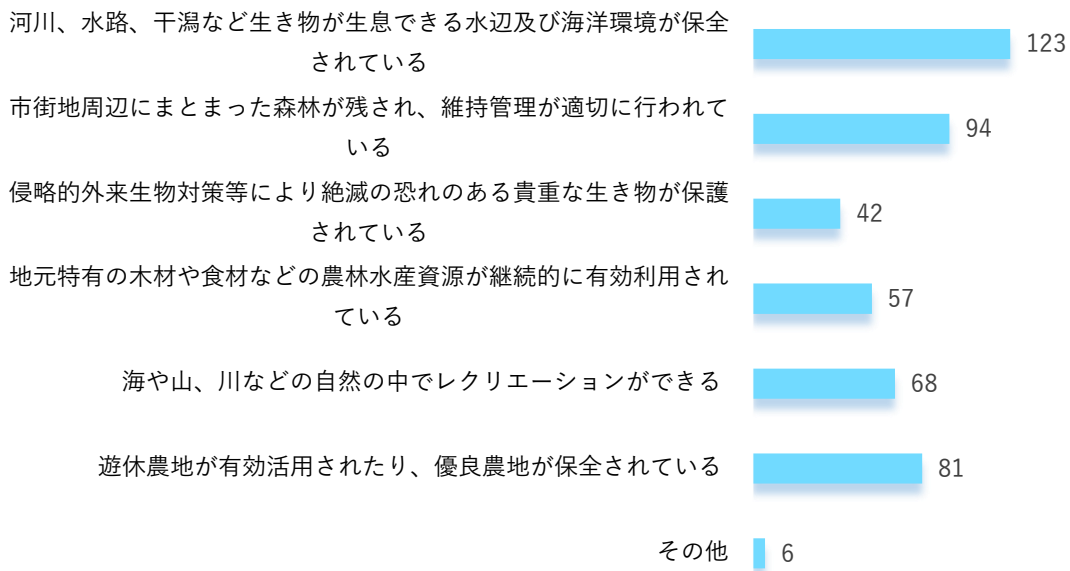
Q1 「暮らしを大切にすまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか？（3つまで選択）

1. 自動車排ガスや工場による大気汚染がなく、空気がきれいである	76 人
2. 生活排水や工場排水による水質汚濁がなく、河川の水がきれいである	105 人
3. 自動車交通や工場の騒音・振動がなく、静かな環境が保たれている	34 人
4. 工場・事業場や近隣からのいやな臭いが無い	45 人
5. 有害物質による土壌や地下水の汚染がない	64 人
6. ダイオキシンやアスベストなど有害化学物質による汚染や被害がない	55 人
7. 健康的で安心・安全な食環境が確保されている	103 人
8. その他	5 人



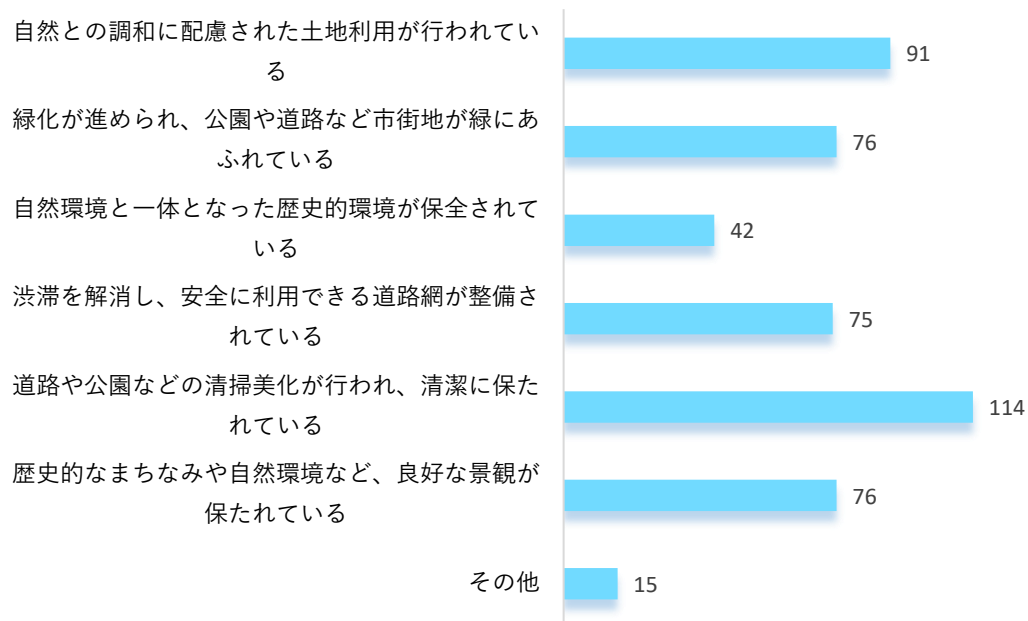
Q2 「自然を大切にすまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか？
(3つまで選択)

1. 河川、水路、干潟など生き物が生息できる水辺及び海洋環境が保全されている	123人
2. 市街地周辺にまとまった森林が残され、維持管理が適切に行われている	94人
3. 侵略的外来生物対策等により絶滅の恐れのある貴重な生き物が保護されている	42人
4. 地元特有の木材や食材などの農林水産資源が継続的に有効利用されている	57人
5. 海や山、川などの自然の中でレクリエーションができる	68人
6. 遊休農地が有効活用されたり、優良農地が保全されている	81人
7. その他	6人



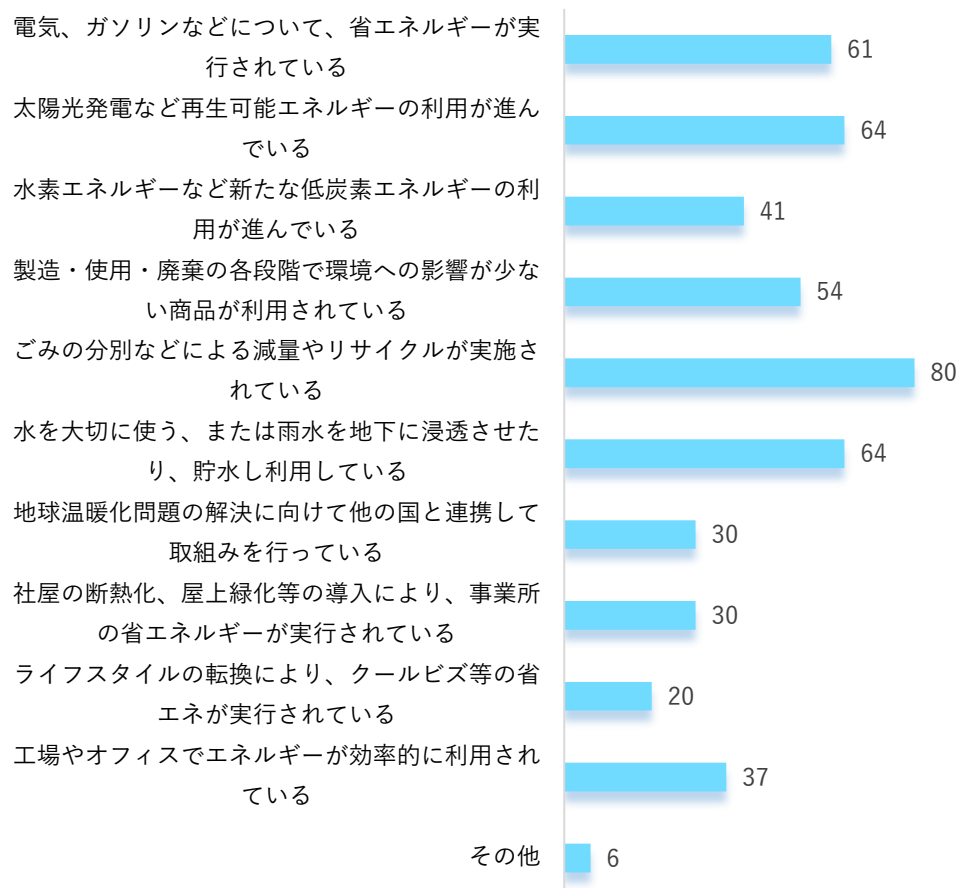
Q3 「町並みを大切にすまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか？ (3つまで選択)

1. 自然との調和に配慮された土地利用が行われている	91人
2. 緑化が進められ、公園や道路など市街地が緑にあふれている	76人
3. 自然環境と一体となった歴史的環境が保全されている	42人
4. 渋滞を解消し、安全に利用できる道路網が整備されている	75人
5. 道路や公園などの清掃美化が行われ、清潔に保たれている	114人
6. 歴史的なまちなみや自然環境など、良好な景観が保たれている	76人
7. その他	15人



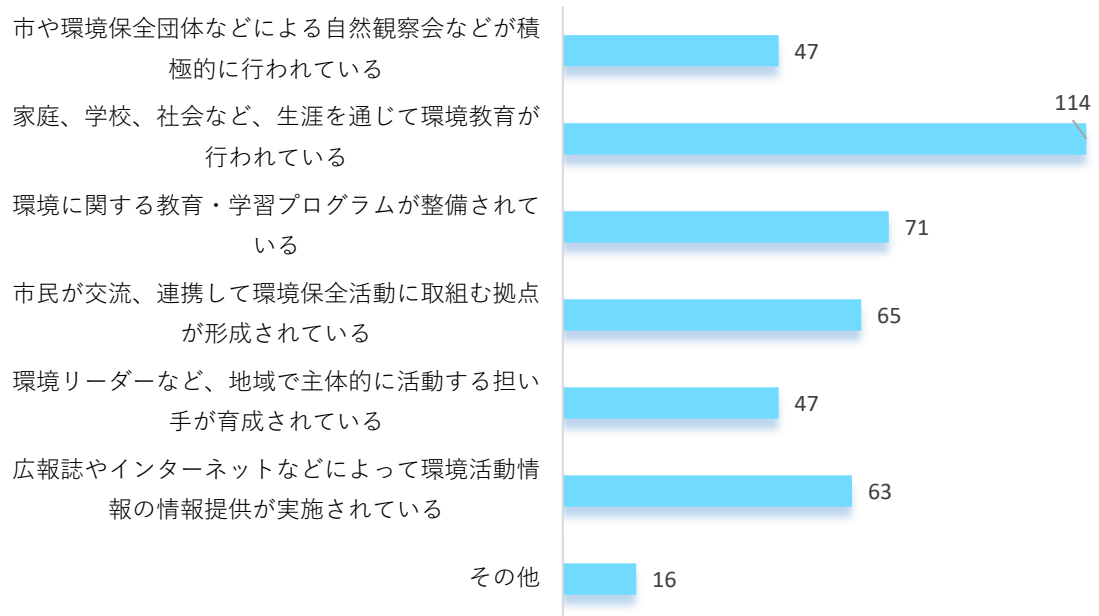
Q4 「資源・エネルギーを大切にするまち」「かけがえのない地球を大切にするまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか？（3つまで選択）

1. 電気、ガソリンなどについて、省エネルギーが実行されている	61人
2. 太陽光発電など再生可能エネルギーの利用が進んでいる	64人
3. 水素エネルギーなど新たな低炭素エネルギーの利用が進んでいる	41人
4. 製造・使用・廃棄の各段階で環境への影響が少ない商品が利用されている	54人
5. ごみの分別などによる減量やリサイクルが実施されている	80人
6. 水を大切に使う、または雨水を地下に浸透させたり、貯水し利用している	64人
7. 地球温暖化問題の解決に向けて他の国と連携して取組みを行っている	30人
8. 社屋の断熱化、屋上緑化等の導入により、事業所の省エネルギーが実行されている	30人
9. ライフスタイルの転換により、クールビズ等の省エネが実行されている	20人
10. 工場やオフィスでエネルギーが効率的に利用されている	37人
11. その他	6人



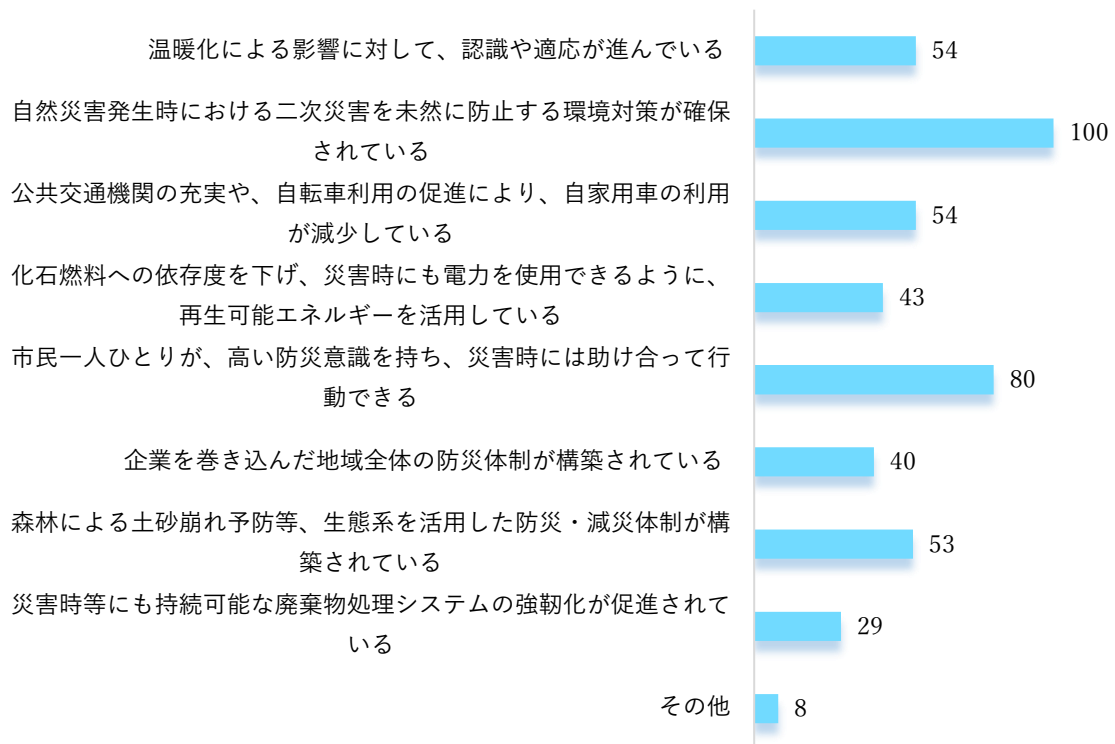
Q5 「人を大切にするまち（環境教育・学習の推進）」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか？（3つまで選択）

1. 市や環境保全団体などによる自然観察会などが積極的に行われている	47人
2. 家庭、学校、社会など、生涯を通じて環境教育が行われている	114人
3. 環境に関する教育・学習プログラムが整備されている	71人
4. 市民が交流、連携して環境保全活動に取り組む拠点が形成されている	65人
5. 環境リーダーなど、地域で主体的に活動する担い手が育成されている	47人
6. 広報誌やインターネットなどによって環境活動情報の情報提供が実施されている	63人
7. その他	16人



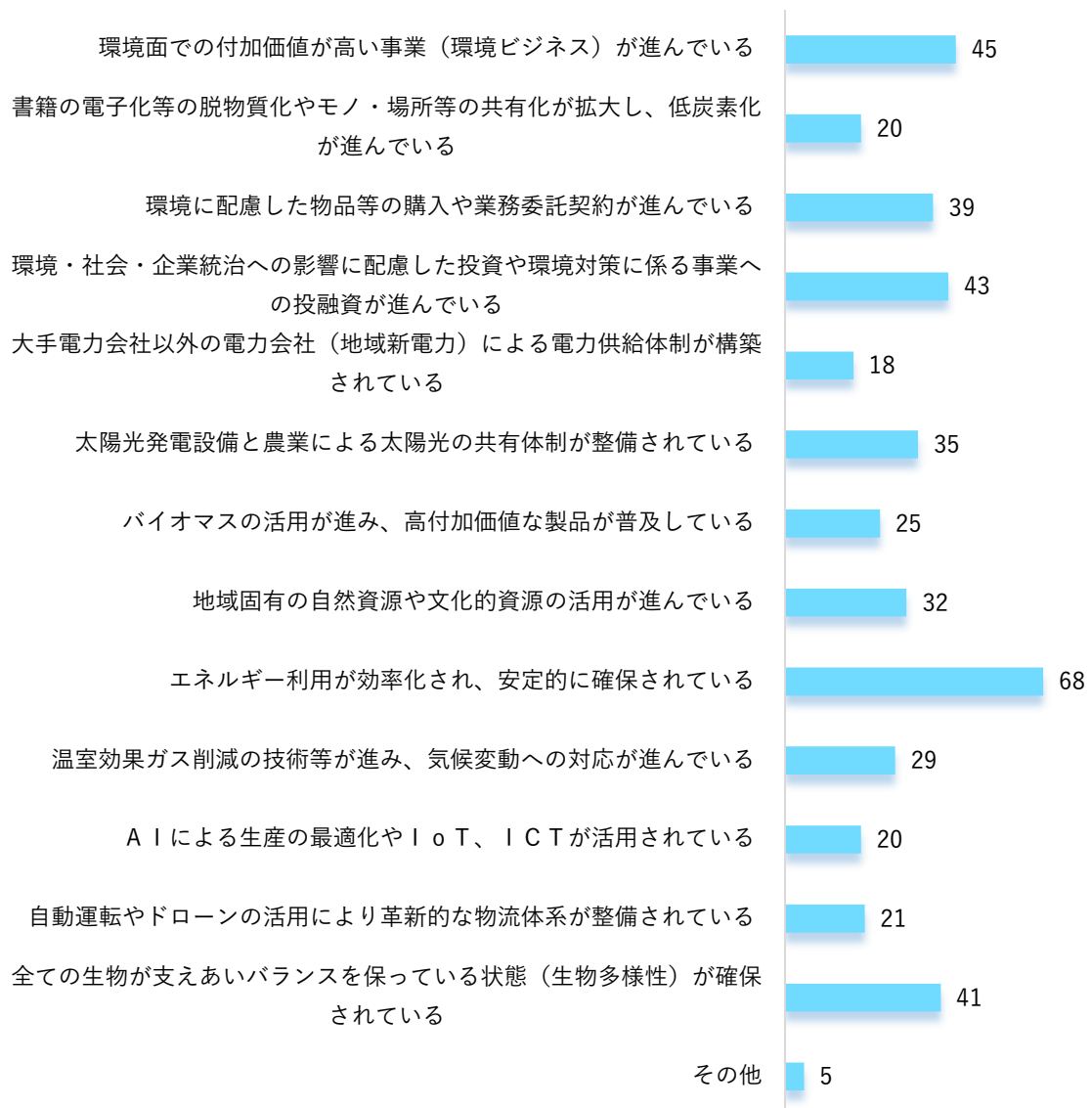
Q 6 「安全・安心に暮らせるまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか？（3つまで選択）

1. 温暖化による影響に対して、認識や適応が進んでいる	54 人
2. 自然災害発生時における二次災害を未然に防止する環境対策が確保されている	100 人
3. 公共交通機関の充実や、自転車利用の促進により、自家用車の利用が減少している	54 人
4. 化石燃料への依存度を下げ、災害時にも電力を使用できるように、再生可能エネルギーを活用している	43 人
5. 市民一人ひとりが、高い防災意識を持ち、災害時には助け合って行動できる	80 人
6. 企業を巻き込んだ地域全体の防災体制が構築されている	40 人
7. 森林による土砂崩れ予防等、生態系を活用した防災・減災体制が構築されている	53 人
8. 災害時等にも持続可能な廃棄物処理システムの強靱化が促進されている	29 人
9. その他	8 人



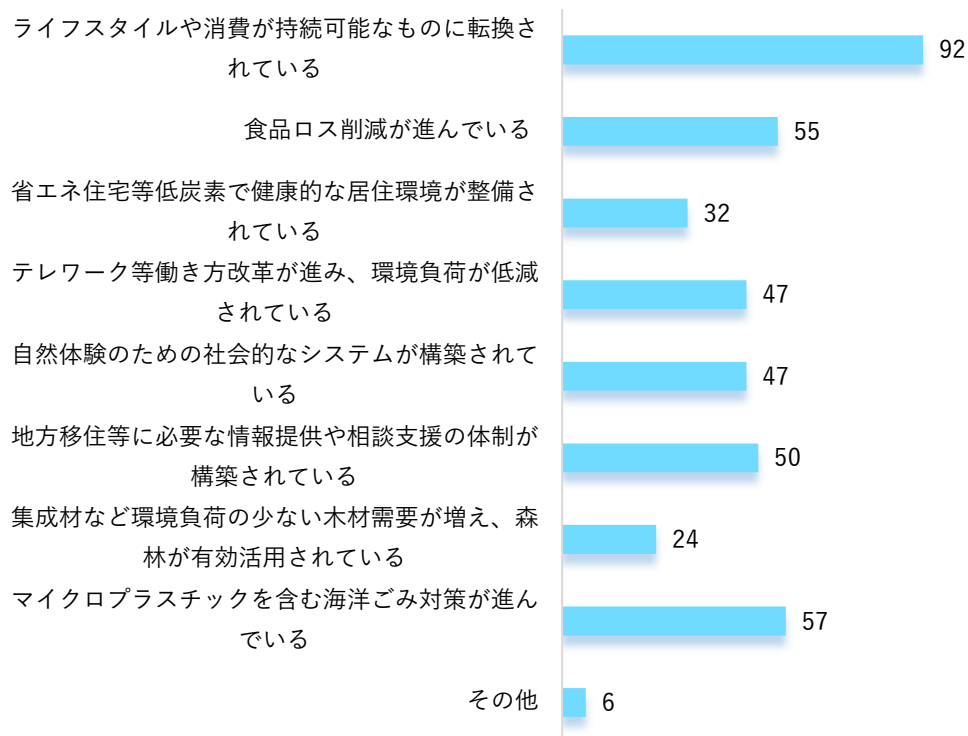
Q 7 「持続可能なまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで選択)

1. 環境面での付加価値が高い事業（環境ビジネス）が進んでいる	45人
2. 書籍の電子化等の脱物質化やモノ・場所等の共有化が拡大し、低炭素化が進んでいる	20人
3. 環境に配慮した物品等の購入や業務委託契約が進んでいる	39人
4. 環境・社会・企業統治への影響に配慮した投資や環境対策に係る事業への投融资が進んでいる	43人
5. 大手電力会社以外の電力会社（地域新電力）による電力供給体制が構築されている	18人
6. 太陽光発電設備と農業による太陽光の共有体制が整備されている	35人
7. バイオマスの活用が進み、高付加価値な製品が普及している	25人
8. 地域固有の自然資源や文化的資源の活用が進んでいる	32人
9. エネルギー利用が効率化され、安定的に確保されている	68人
10. 温室効果ガス削減の技術等が進み、気候変動への対応が進んでいる	29人
11. AIによる生産の最適化やIoT、ICTが活用されている	20人
12. 自動運転やドローンの活用により革新的な物流体系が整備されている	21人
13. 全ての生物が支えあいバランスを保っている状態（生物多様性）が確保されている	41人
14. その他	5人



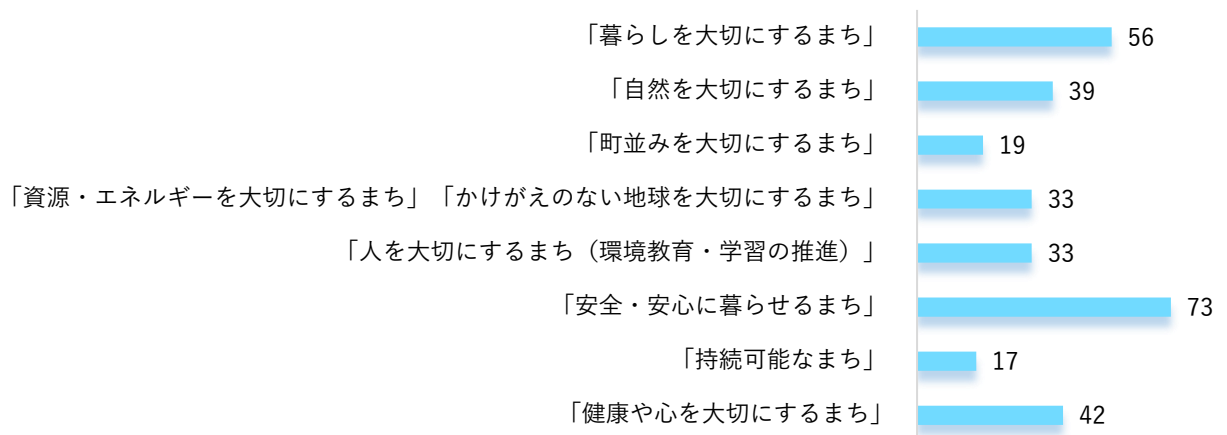
Q8 「健康や心を大切にすまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか？（3つまで選択）

1. ライフスタイルや消費が持続可能なものに転換されている	92人
2. 食品ロス削減が進んでいる	55人
3. 省エネ住宅等低炭素で健康的な居住環境が整備されている	32人
4. テレワーク等働き方改革が進み、環境負荷が低減されている	47人
5. 自然体験のための社会的なシステムが構築されている	47人
6. 地方移住等に必要な情報提供や相談支援の体制が構築されている	50人
7. 集成材など環境負荷の少ない木材需要が増え、森林が有効活用されている	24人
8. マイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策が進んでいる	57人
9. その他	6人



Q9 本市の将来の環境の状態について、Q1からQ8までで回答していただいた環境の各分野で、特に重視するものを選んでください。（2つまで選択）

1. 「暮らしを大切にするまち」	56人
2. 「自然を大切にするまち」	39人
3. 「町並みを大切にするまち」	19人
4. 「資源・エネルギーを大切にするまち」「かけがえのない地球を大切にするまち」	33人
5. 「人を大切にするまち（環境教育・学習の推進）」	33人
6. 「安全・安心に暮らせるまち」	73人
7. 「持続可能なまち」	17人
8. 「健康や心を大切にするまち」	42人



総括

本市の取り組むべき環境施策について、市民の皆さまが重要と思われることを各分野別に集計させていただきました。「暮らしや自然」の分野では、水質汚濁や海洋環境など水に関する項目、「環境学習」の分野では生涯を通じた環境教育、「安全安心なまち」の分野では自然災害発生時の二次災害防止について関心が高いことが分かりました。また、将来に向けた「持続可能なまち」の分野では、エネルギー利用の効率化と安定的な確保への関心が高く、第3次新居浜市環境基本計画にもこの結果を反映させてまいりたいと思います。ご協力ありがとうございました。

(カーボンニュートラル推進室)